

令和4年 7月定例教育委員会議事録

1. 日 時：令和4年7月25日（月）13時30分～15時50分

2. 場 所：離島開発総合センター2階 西側会議室

出席委員：委員 中村好秀 委員 升水裕司  
委員 浦いせ子 委員 横山明美  
教育長 中村慶幸  
事務局 教育次長 永田敬三  
教育生涯学習班長 大田議嗣  
図書館係長 津田朋子（欠席）  
文化財係長 平田賢明  
教育総務係長 神崎健司（欠席）

3. 附議案件

(1) 前回議事録承認の件

(2) 教育長報告

(3) 報告事項

1) 各種委員会、協議会等について

報告第12号 第2回小値賀町ふるさと留学協議会について（6/22開催分）

報告第13号 第1回小値賀町学校給食共同調理場運営委員会について（7/13開催分）

報告第14号 小値賀町立学校働き方改革推進委員会について（7/14開催分）

報告第15号 北松西高校魅力化推進協議会（第1回）について（7/15開催分）

2) その他

①学校訪問（小学校6/14実施分、中学校6/30実施分）

②長崎県学力調査結果について

③民音コンサートについて（7/1実施分）

④小中学校校舎現地検討会について（7/7実施分）

⑤長崎県中体連の結果について（7/23～24実施分）

⑥社会人権・同和教育地区別研修会について（7/8実施分）

⑦大島地区ふるさと留学説明会について（7/19実施分）

⑧長崎県少年少女合唱団合同演奏会について（7/17実施分）

⑨青少年キャンプについて（7/24実施分）

(4) 協議事項

①学校閉庁日（大島分校）について

②総合教育会議について（7/29開催分）

(5) その他

①8月行事予定について

②次回定例教育委員会の日程

事務局	<p>教育長、本日は全教育委員さん出席でございますので、会則に基づいて、定例教育委員会が成立いたしますので、よろしくお願いたします。</p>
教育長	<p>改めまして、皆さんこんにちは。</p> <p>本日、定例の7月教育委員会ということですがけれども、4名の方が傍聴に来ていただいております。</p> <p>規則に基づいて、傍聴を許可しておりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>暑い日が続いておりますけれども、皆さん、ご健勝にてご出席いただきまして、ありがとうございます。</p> <p>教育委員会では、7月、8月の行事が詰まっているような状況ですがけれども、7月28日には、高校3年生の地域探究発表会が、役場で行われるようになっております。</p> <p>そして同日ですがけれども、教育長・教育委員研究協議会ということで、この日は、教育長と升水委員、横山委員の3名が出席して、ウェブで会議がなされる予定でしたがけれども、当日に町議会の7月会議が入ったということもありまして、担当の方で調整をさせていただいて、私も全委員さんも、9月上旬で、改めて調整するということになりましたので、7月28日の協議会は、取り敢えず、ありません。</p> <p>9月上旬になりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>7月29日には、総合教育会議ということで、町長と教育委員会との協議・懇談ということになっておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>また8月6日には、中学校吹奏楽部のサマーコンサートが実施されますけれども、その中に、ふるさと留学生も1名入っております。</p> <p>そして翌7日には、少年少女スポーツ大会ということで、今回は、大縄跳びが実施されるというふうに聞いておりますけれども、さらに8月9日が、学校運営協議会の今年度第1回目でございます。</p> <p>そして8月22日には、教職員の令和5年度の人事異動の1次ヒアリングが、佐々町で行われることになっております。それに先立ちまして、8月8日に小・中学校の校長先生との協議をいたしたいと思っております。</p> <p>行事が立て込んでおりますけれども、9月、10月と、それぞれ、またスケジュールが入ってくると思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>あとは、座って報告させていただきます。</p>
教育長	<p style="text-align: center;"><b>「附議案件」(1) 前回議事録承認の件</b></p> <p>それでは、附議案件に入りたいと思っておりますけれども、1点目の「前回議事録の承認の件」ということで、前回と言いますか、今回は、5月と6月の議事録を事前にお出しさせていただいているんですが、まず5月の議事録で、お気づきの点等があれば、ご発言をお願いたします。</p> <p>大丈夫だったでしょうか？</p>

教育委員	はい。
教育長	ありがとうございます。 続きまして、6月の議事録について、何かございましたら、ご発言をお願いします。
教育委員	ありません。
教育長	ありがとうございます。
中村委員	このことでいいですか？ 質問です。5月と6月で書き方が違って、教育委員のところ、6月はイニシャルになっていますよね？ この方が、私が発言したとかいうところが探しやすいので。この量だと、で、イニシャルじゃなくて、名前でもいいのかなど。もう「中村委員」とか。 隠すことではないかなと思いますので。
教育長	その点に関しましては、私も事務局に同様の話をしております。 この議事録は、公表の努力義務があります。ですので、公表前提に作成されておりますし、レジュメを見ていただければ分かるように、予め出席者の氏名が書いてありますので、イニシャルにする必要自体がないというふうに思っております。 6月の議事録は、私が作成したんですけれども、今までの流れに沿って、取り敢えず、イニシャルで落とさせていただきましたけれども、以降は、お名前を出していいと思っておりますので、そのようにさせていただきたいと思っております。 よろしくをお願いします。ただし、時々個人名が出るがありますが、個人名は記載しないようにしたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。
教育長	<b>「附議案件」(2) 教育長報告</b> 続きまして、教育長報告でございますけれども、以前から私の報告だけでもかなり長時間に渡っているという反省を踏まえまして、今回は、事前に報告書を作成しました。 それで、目を通していただいていると思うんですけれども、その中でも、改めてお伝えしておきたいことのみ、ご報告をさせていただきたいと思っております。 まず会議なんですけれども、⑤の「町内校長・教頭合同研修会」です。7月12日に行われておりますけれども、これは、8月を除きまして、毎月行われる事務局と町内の小・中・高の校長先生、教頭先生の合同の会議ですけれども、内容につきましては、ほぼ小中高一貫教育の計画、事業進捗、実績あたりの情報共有になっております。

<p>升水委員</p>	<p>その中で、7月の会議から、こども園の園長にも参画していただくことになりました。理由としまして、町の総合計画の中で「幼小中高連携を推進していく」というふうに掲げておりますし、全国的にも「小1プロブレム」ということが言われていまして、国では「幼小の架け橋プログラム」というところで、幼稚園・保育所と小学校の連携強化が推進されている状況にあります。</p> <p>その両方を踏まえまして、7月から、こども園の園長にも、この会議に出席していただくようにしました。</p> <p>それと、1枚めくっていただきまして、来庁者のところですがけれども、福岡大学商学部の飛田准教授という方が見えられまして「高校・大学連携によるアントレプレナーシップ教育の実施例について」ということで、お話を伺っております。</p> <p>来ていただいたきっかけが、以前私がお話ししました、キャリア教育ですね、「役場の職員が、積極的に子ども達のキャリア教育に関わっていこう」という提案をさせていただきましてけれども、それを、ある一般の方にお話ししたところ、この飛田先生を紹介していただきまして、7月7日にお話をさせていただきました。その時は、次長と教育総務係長に同席していただきました。</p> <p>この先生の取組みが、ここに書いてありますように、創業体験プログラムなどを通して、高校生・大学生を育成しているという方で、目的のところにありますように、高校生にとっては、大学生がロールモデルになるということで「一歩踏み出す勇気を育てる」、大学生にとっては「高校生に教えながら自分が学ぶ」、地域にとっては「自分の町で働く、仕事を創る」ということに繋がっていくというところなんです。</p> <p>アントレプレナーとは「起業家」という意味だそうですが、そういう精神、行動能力を持った子どもを育てるという取組みをされていまして、連携としまして、近いところで言いますと、壱岐商業高校に web で授業をしているそうです。</p> <p>飛田先生がフォローする形で、大学生が高校生に授業をするということをしておりまして、所感のところにも書いてありますように、私も同じような感覚を持っているわけなんですけど、そういう起業家的な感覚を養わせるというのは、私達公務員であっても、事業をしていくうえで収支、費用対効果は考えないといけませんし、一般企業に就職する、あるいは自分で起業するうえでも、こういった取組みというのは、非常に重要なんじゃないかなと思うところで、まずは、町職員が、キャリア教育に関わるという取組みを進めているところですので、そういった研修会とか、講師にお招きしていい方なんじゃないかなと思ったところです。補足させていただきたい点は以上です。</p> <p>事前にお配りしている中で何かあれば、ご発言いただきたいと思います。よろしくお願いします。</p> <p>起業家を目指して行動をするというのが、私もずっと公務員で来てたもんですから、例えば会社を立ち上げるとか、そういう時に、どういうふうな手続きをしたら、会社を設立できるのかとか、そういうのが全然分からないんですね。で</p>
-------------	---

	<p>すので、大雑把でもいいんですけども、会社を設立する時には、例えば有限会社でも株式会社でも、簡単にそういうのを説明していただければ、ハードルが少し下がっていくんじゃないかなって思うんですけども、そういう内容についても、この先生は、お話はしてくださるんですかね？</p>
教 育 長	<p>会社組織を作るっていうところまでは、お話はなかったと思います。</p> <p>大分県立日田三隅高校での取組みで、高校生に模擬店舗を出店させたりとか、大学生も、学園祭で自分達で物売る、そういった取組みを通して、教育をなされてる方ですけども、実際に株式会社を設立するのに、今は出資金1円で株式会社は設立できるんですね。</p> <p>登記をすれば、すぐに会社ができるようになっているんですけども、委員さんが言われるように、有限会社とか、今だと、雇用機会拡充事業で合名会社を作ったりとか、そういった事例自体が町内にありますので、その辺は、先生にお話していただかなくても、できるのかなと思うんですけど、やっぱり大事なのは、例えば物売るっていうときに、私達もよく失敗しましたが「自分達がいいものだと思っているから売れる」というのは間違いで、売るための戦略っていうのが必要になって、ターゲットをどこに置くのか、年齢層とか性別ですとか、そういったリサーチをして、売っていくっていうことになっていくと思うんですけど、そういった取組みの中で、予算の話ですね、経済活動ですので、お金をどうやって調達するかとか、物売って、その売上の中から当然経費が差引かれていくわけですけど、そういった資金管理、会計学のような形で、先生の専門は会計学ですので、そういった形で授業をされているというところで、起業家的な考えを持つことによって、将来どの分野に進んでも、物を作っていく、売っていく、あるいは訴求する場合に、どういう手段を取っていくかとか、そういうことが、凄く勉強になると思うんですね。</p>
升水委員	<p>今の説明でよく分かりましたけれども、何にも分からない、全然そういう知識がないんですけども、子ども達も、分かっている子もいるかもしれないんですけども、やっぱり費用対効果で、仕入と売値と、うまくバランスを取って商売をしていくんだっていうのは、頭で大体分かっているんですけども、そういう講義を聞いたら、なかなか難しく、入りづらくなって思うんですけども、最初に会社の設立は「こういうふうにしたら簡単にできるんだよ」という話を受け取ったら、なんか入りやすくなるかなって思うんですけども、どうでしょうね？</p>
教 育 長	<p>例えば、実際に飛田先生に来てもらって、中学生でも高校生でも「モデル的にでもやってみよう」とかっていう話になったら、言われるように「会社を作るには、こういう組織の種類があって、設立するためには、それぞれこういう条件がある」とかっていうお話は、していただけたと思います。</p> <p>先日、中五島高校だったと思いますが、模擬的な株式会社を設立して、町内に出店をして、ビジネスキャリアコースっていうのが、中五島高校にあるようです。</p>

事務局	<p>が、そこの生徒が、そういった取組みをしているとか、確か旧北松でも、世知原か吉井あたりは、確か小学生か中学生が会社を作って、そういった地元の産品を通して、キャリア育成しているという記事もあったと思うんで。</p> <p>結構全国各地で、そういった取組みがされているようです。で、この日田三隅高校の取組みは更に踏み込んでいて、高校生自体が、確か洋服店かなんかやったんですけど、地元でお店を構えて、実際に高校生が、それで「収支が取れるか、地元で採算が合う事業になるか」っていうのも含めてテストをされていて、採算が合って、かつ、やりたいっていう人が一般にいれば、高校生が、そのお店を一般の方に譲渡するっていう、面白い取組みをされているんですよ。</p> <p>事務局です。</p> <p>まず升水委員の質問というか、関連してるんですけど、教育長の説明がありましたけれども、北松西高校の魅力化推進事業というのを進めてますけど、その中にも、島内企業の説明会ということで、高校生対しまして、地元で起業されている、例えば島宿御縁さんですとか、そういう地元で起業されている方のお話を直接聞いて、学べる場を作っているという状況でございます。</p> <p>先日、教育長も実際に現場を見られて、何か非常に凄い説明、この人がここまで、すいません、考えているのかっていうような、凄い地元で起業することへの思いを、説明してくれたということで、受けておりますので、そういう面では、高校の魅力化事業の中で、引続き、そういうのは、説明ができるのかなと思いました。</p>
横山委員	<p>次長が地元の起業家っていうふうに言われましたけども、今、御縁さんというふうにおっしゃっていましたが、地元で起業されているところっていうのは、どのぐらいっていうか、何をもって起業家っていうのかっていうところから知りたいんですけども。教えていただければ。</p>
事務局	<p>ご質問にお答えします。</p> <p>今までの実際の事例としましては、町内の企業ということで、農業、漁業、流通業ですね、当然役場も一企業といいますか、そういうことで役場の職員ですとか、九電工さんの職員、それと福祉関係では養寿園さんですね、それと飲食業あたりも実際に話をしてくれたということで、あらゆる職業、個人業も含めた形での企業ということで、捉えているようです。高校が選抜していますので。</p>
教育長	<p>1点補足ですけれども、後で報告がありますけど、高校魅力化推進協議会での4年度取組みの中に、高校生が地元産品の商品化に取り組むというのが、課題としてあるんですけど、校長先生のお話では、やっぱり高校、高校だけじゃないですけど、子ども達には、学力を保障するのが学校の第1の努めで、皆さんご承知のとおり、今の子ども達は忙しいですよ。勉強だけじゃなくて、部活ほか色々な取組みがあつて。</p>

	<p>そういう中で「ゼロから子ども達が商品化を図るとするのは、非常に難しい」という話があつて。</p> <p>一方で、先ほど言いましたように、実際に他県では、そういった取組みも、先ほどの日田三隅高校の例みたいに、そういったことに積極的に取り組んでいるところもあるということ。</p> <p>北松西は普通科ですので、今、高校の普通科改革というのも進められようとしていますけれども、そういった中で「学校としても非常にそういったことに関わらせたいんだけど、十分に時間が確保できない」という悩みがあつて。</p> <p>私の方から、その時に提案したんですけど、情報発信にも力を入れていますので、計画が2本立てなんです、情報発信と商品化の取組みの2本立てなんですけど、実際に地元で商品開発されているところも複数ありますので、そういった企業なり団体なりが、あるいは個人なりが開発している地元産品を使った商品とかの情報発信を強化するとかっていうところで、「無理に商品開発に一から取組まなくても、時間がないっていうことであれば、そういうやり方もあるんじゃないんですか?」と、お話をさせていただきました。</p> <p>他にございますでしょうか? よろしいでしょうか?</p>
<p>教 育 長</p>	<p style="text-align: center;"><b>「附議案件」(3) 報告事項</b></p> <p style="text-align: center;"><b>1) 各種委員会、協議会等について</b></p> <p>それでは、3番目の報告事項ですけれども、「各種委員会、協議会等について」ということで、先ほど事務局から報告第12号から15号まで、資料確認させていただきましたけれども、まず報告第12号「第2回小値賀町ふるさと留学協議会について」ということで、事前にご報告させていただいておりますけれども、その中で、何かありましたらお願いいたします。</p>
<p>浦 委 員</p>	<p>報告事項の中の●の2番目のところです。</p> <p>留学生について、ハウスマスターの報告の中に「寮によく同級生や部活の先輩が遊びに来るようになり、溜まり場ようになってきた」という言葉があるんですけど、この溜まり場っていうのは、いい意味での溜まり場なんですか? 悪い意味での溜まり場なんですか? どちらを取ったらいいんでしょうかね?</p>
<p>教 育 長</p>	<p>多分両面あると思うんですけど、私も度々寮の様子を覗きに行ってますけど、ある時、男子の友達2人が来ていて、留学生の1人と計3人で勉強していました。一方で、残り2人の留学生は、ハウスマスターをしてくれている方のところに行つて勉強するというので、丁度出かけるところでした。</p> <p>私がある時見た感じでは、テーブルいっぱい参考書とか教科書を広げていて、3人で勉強していたので、それはそれでいいんですけど、一方で、残りの2人が勉強するスペースがなかったのかなっていう、勿論各部屋に勉強机がありますので、そこでするというのもできるんですけど、少し落ち着かない面もあつ</p>

<p>浦 委 員</p>	<p>たのかなというふうに思います。</p> <p>集まって、留学生と地元の子どもが交流するっていうのは、いいことだと思いますし、一方で、勉強をする時に手狭になるとか、多くなると騒がしくなるとかっていうこともあるかもしれませんので、そこは状況に応じて、ハウスマスターにも指導してもらいながら、悪い意味での溜まり場にならないように、気をつけてまいりたいと思います。</p> <p>子どもが集まるっていうのは、ちょっと難しいところがあると思うんですね。寮に3人いらっしゃいますよね？そういうのが好きな子どももいるし、1人1人性格も違うし、学習に対する取組みとか、寮での生活の取組みとか、違うところがあると思うんですね。</p> <p>だから例えば、Aさんは友達がいっぱいいて、Aさんの友達はよく寮に来るけど、Bさんは友達があまりなくて、求めてというか、寮にはあまり来ない、そういう違いっていうのがあると思うんですね。</p> <p>だから、それをその3人がどんなふうに見るのかなって。</p> <p>そこら辺から寮での生活が嫌になってくる子どもも、もしかしたら出てくるかもしれないし、ちょっと難しいかなと思うんですね。</p> <p>だから、そこら辺の決まり、寮生にしっかり聞いてですね、決まりっていうのをきちんとつけておかないと、もう何かこう、めちゃくちゃじゃないけど、そうですね、なってくるんじゃないかなって。</p> <p>ちょっと、溜まり場って言葉を聞いたときにですね。ちょっと、こう思ったんですね。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>おっしゃるとおりだと思います。それぞれ個性があって。</p> <p>最初は、何をやるにも一緒に行動していたのが、段々友達関係とか形成されてきて、それぞれ行動するようになってきているように思います。</p> <p>寮のルールっていうのもですね、先ほど言いましたように、悪い意味での溜まり場にならないように、必要であれば、例えば、一般の子ども達が寮を訪れることができる時間を決めるとか、そういった、新たなルールが必要になるかもしれませんが、事務局はどうでしょうか？</p> <p>この報告書にある「溜まり場」っていうのを、どういうふうに受止めていますか？</p>
<p>事 務 局</p>	<p>先ほど教育長も言いましたが、事務局としては、いい面もあると思う一方で、やはり悪い面も正直、影響が出る可能性があるというふうに思っています。浦委員さんが言われたように、やっぱり、しっかりとした寮の中での決め事とか、その辺を今後話し合っていく必要があろうかなと思っています。</p> <p>ただ、昨年の反省というか、教訓を踏まえて考えますと、地域の方々が、寮の中ですね、入って来てくれている、交流があるというのは、事務局としては、プラス面では考えておりますけれども、一方で、そういう勉強の時間とか、ちゃ</p>



	<p>んと習慣的な、ダラッとならないようにですね、そこは、しっかりと指導していく必要があるかと考えております。以上です。</p>
教 育 長	<p>はい。他ございますでしょうか？</p> <p>ないようでしたら、報告第 13 号に移ってよろしいでしょうか？</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、報告第 13 号「第 1 回学校給食共同調理場運営委員会」について、何かご意見等ございましたら、よろしくお願いします。</p>
浦 委 員	<p>前の協議会の時も、ちょっと話をしたことがあるかなと思うんですけども、その他のところの 3 番です。</p> <p>「地元のお米利用について」ですが、やっぱりこれは、まだ地元のお米を使って、ゴミを除去するのに大変な思いをされてるんだなっていうことを感じました。</p> <p>それで、その時に「小値賀の米じゃなくて、県産の米ができないのかね？」っていう話もしたことがありますよね？もし、それができなくて、小値賀の米を使うようであれば、洗米機が 300 万円かなんか言ってましたよね？次長さんね？</p> <p>それを購入することが、可能かなんかという話もあったかなと思うんですけども、やっぱりここは、卸してくれる農家さん、もうゴミをそこまで綺麗に選別できないのであれば「自分たちもそれはできないんだから」っていうことを、自分達で認めているようなところもあるみたいですよ？</p> <p>県産米に切替えることって難しいんですかね？</p> <p>一応それだけ質問します。</p>
事 務 局	<p>委員さんおっしゃるように、前回というか、運営委員会の中でもありました。</p> <p>で、そういう選別が大変であれば、選別機を購入するとした場合、300 万円じゃなくて、確か 150 万円ぐらいだったと思います。</p> <p>ただ、ランクによって、幅はあると思いますけれども、私が調べた範囲では、150 万円ぐらいだったと認識してるんですけども、そういうのも、必要であれば、当然予算の関係は、町長部局との調整と議会の承認が要りますので、その辺はしっかりとうちの考えを、共同調理場の中で、そういう意見になったら、次の段階に進むべきかなと思っております。</p> <p>ただ、この運営委員会の中でも「できたら地元のお米を使って欲しい」というニーズがございまして、今、昨年のお米を保管していらっしゃった、ある業者さんと、地元の業者を通して入っていた農家さんが、在庫がもう終わったもんですから、その後に対して、一応県産米で対応してたっていう現状でございまして、また、近々稲刈りが、今年は早いようでございますけれども、始まりますので、</p>

	<p>その辺は、その業者さんが、もし地元の農家さんと確保ができるようであれば、その地元の米を使う可能性もあろうかなと思いますけど、この一番ネックの部分の選別作業がですね、どうしても課題になっておりますので、そこは、昨年からです、あるお米の専門の業者さんがおまして、その業者を通して、逆にその選別作業をお願いして、地元のお米を出して選別して、給食に使うというようなそういう流れができないかというのを、今調査中のごさいますて、ただ、価格面のですね、検討も必要なのかなと思っていますので、そこは、今事務局の方で調査をして、その価格の比較とかもして、また運営委員会でも意見を聞きたいと思っておりますけど、保護者というか、運営委員会のニーズとしては、やはり、地元の米を食べさせたい、地元の食材、特に魚についても意見がありましたけど、地元の食材を、やっぱり使った給食を望んでるというようなニーズがございましたので、そこは、事務局としても学校給食の目的であります「地産地消の推進」と「食育」の面からも、可能な限り、地元の食材を活用したいという考えではおります。</p>
教 育 長	<p>他はございますでしょうか？</p>
升水委員	<p>なんか、同じようなことの繰り返しになるんですけども、やっぱり地元産の、小値賀産の米を食べさせたいという気持ちは、よく分かるんですけども、そこで、給食の係というか、給食室の作業が多くなって、人員が足りない中で、四苦八苦されている状況があるんで「それは考えてください」ということで、そしてら選別機ですかね、ゴミを取る選別機を買えば、何百万ってかかりますっていう話だったけんですね、やっぱり、そういう事情があれば、先ほど浦委員さんが言われたように、もう県産米で、地元の農家さんたちにも分かっていたら、それは、ある程度強引に言っているんじゃないんですか？ どう思います？</p>
横山委員	<p>すいません、地産地消っていうのは、県の推進でもあるんですよね？</p>
事 務 局	<p>はい。県の推進でもありますし、国自体も推進しています。      広く考えると、長崎県産米っていう、委員さん方の考えがありますが、私もちょっと以前、そういう担当をしていた経緯から、どうしても頭から「地元産」というのが、抜けずにおるんですけど、委員さん方からの意見も踏まえて「広い考えも必要なんだな」と、今思いましたので、その辺は、広い視点でちょっと考えていきたいと思っております。</p>
教 育 長	<p>はい。先日の運営委員会でのご意見も踏まえたところで、私の考えも、ちょっとお話をさせていただきたいと思っております。      米の問題に関しましては、先ほど委員さん達からもあっているように「地元のお米を使って欲しい」という、委員会自体の意見もあるんです。      しかし、7月に5人目の方がようやく確保できまして、5人揃う時には3品出せる、4人体制の時には2品で我慢していただいているっていう状況があります</p>

	<p>ので、升水委員さんからもあったように、まずは、運営体制を安定させるっていうのが大事な状況ですので、例えば、今中学3年生だと、当然来年は高校生になって、給食を食べる機会がなくなってしまうかもしれませんが、まずは、先ほど言いましたように、安定的に運営できる体制を作って、そこから、どうしても「県産米じゃなくて、小値賀産米を提供していこうよ」というふうになってくれば、またそのときに、予算面も含めて考えればいいんじゃないかなと思いますので。</p> <p>米ばかりが地元産品というわけでは、当然ありませんので、同様の課題としてですね、私は水産係が長かったので、思うんですが、まだまだ地元の水産物の利用というのが、あまり進んでいない状況なんですね。</p> <p>米が、例えば、そういった混ざり物がある、それを除去するのに多大な労力がかかるというのであれば、当面県産米を使いつつ、その他の品目で「もっと地元産の物を取入れることができないか」ということを考えてもいいと思うんですよ。</p> <p>まずは、安定的に運営する、そのために人材を、まだ1名欠員の状態ですので、6人体制を確保する、その後に考えていっていいんじゃないかなと思うんですけど。以上です。</p>
横山委員	<p>質問なんですけれども、地元さんの品物っていうか、こども園で給食を提供していたこともあって、予算はある程度限られていて、地元の商品っていうのは、魚にしても野菜にしても、入れる時には結構値が張るんですね。</p> <p>そこら辺は、どういうふうに、地産地消の考えで、どういうふうに地元の物を取入れられているのかっていう質問です。</p>
教育長 事務局	<p>まずは、現状について、事務局から説明をしていただきたいと思います。</p> <p>現状ですけども、地元食材の活用につきましては、学校栄養教諭が、毎月、メニューの栄養バランスを考えたうえで設定しております。</p> <p>実績としまして、大体6割ぐらいだったと思っておりますけども、全体の食材の6割ぐらいを地元産で賄っているという現状でございますけど、基本は米、それと野菜ですね、野菜につきましても、ブロッコリーであるかと思っております。で、魚もですね、使いたいというのがあるんですけど、栄養教諭の感想としては、切身の大きさですとか、価格面ですとか、そういう部分で、どうしても学校給食としての地元産が難しい、大きな問題として、バラつきがあるそうなんです。</p> <p>食材が安定的に入らないという、そういう課題もございますけど、特に6月と11月は、食育の強化月間ということで、その2つの月については、特に地元産、県内産も含めてですけど、推進を図っている状況でございます。</p> <p>現状はそういうところで、赤字分といいますか、給食費の1食当たりの大体の単価を、300円くらいとか、単価、一応目安を決めとって、それを上回った部分というか、そういう部分につきましては、一応町の方が「地元の食材購入費支援」</p>

	<p>ということで、年度末に、その差額分については、町の方が支援しているという ような現状でございます。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>先ほど次長からあった「6割程度」というのは、小値賀産も含めて、県内産の 利用率が6割ぐらいという意味だと思うんですけど、それを更に「小値賀産の利 用率を高めていこう」ということになりますと、先ほど言ったように、水産物に は水産物の課題がありますし、それは予算面であったり、原材料の確保面であっ たりというところがあると思いますので、そういったところに関しましては、産 業振興課とか関係団体との協議が必要になると思いますし、そのうえで、どうし てもロットが少ない分、単価が上がる傾向にありますので、そこを「地産地消を 進めるうえで、地元産での食育を進めていくうえで、必要な予算」っていうので あれば、そこは、やっぱり確保していく努力をしたいと思いますけど。</p> <p>結局、町内全体で考えれば、同じだと思うんですね。</p> <p>食材費を抑えるために仕入れられない、じゃあ仕入れられない魚はどうなっ てるのかっていうと、外に出て行くんですね。外に出す時には、当然流通コスト がかかります。</p> <p>それに対する支援もしてますし、漁協や生産者の負担も当然発生します。</p> <p>それよりも「地元子ども達に食べさせたい。より多く食べさせたい」ってい うことになって、「でもそうなる食材が高くなるので」ってことになると、その 食材費の補助を、例えば上げる、その分外に出て行く魚が減って、それに関わる 流通コストも減るわけですから、町内経済全体で見れば、そう変わらないと思 うんですね。どこに視点を置くかの違いであって。</p> <p>そういう議論をしていった方がいいのかなと思っておりますので、事務局よろ しくお願いします。</p> <p>他でございますでしょうか？よろしいでしょうか？</p>
教育委員	はい。
教育長	<p>それでは、報告第13号を終わりたいと思います。</p> <p>続きまして、報告第14号「学校働き方改革推進委員会」ですけれども、何かご ざいますでしょうか？</p>
中村委員	<p>この内容と直接的には関係がないんですけども、先日学校の校長先生と話した 時に、中学校の先生は「部活動の遠征の引率で、時間超過が、どうしても発生し てしまう」というのがあった時に、ひとつ疑問に思ったんですけども、例えば、 保護者が一緒について行って、夜の時間は保護者が見るとかいう形になると、そ の時間帯の先生の超過っていうのは、入らなくなるのかなっていう疑問があっ たんですけど。</p>

教 育 長	<p>正確には、確認が必要だと思いますけれども、おそらく、子ども達の夜間の指導、監視に付かなくていいということになると、そこに時間外、超過勤務は発生しないと思います。</p>
事 務 局	<p>はい、そうです。</p>
中村委員	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>中学校のクラブ活動であるとか、結構保護者がついて行って見てあげるといふ、そういうのが多くて、中学生の親とか、応援に行く方もいらっしゃるんで、見てもらえるのではないかなと思っただけです。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の資料に、文化部についても、運動部と同じように、令和5年度から7年度の3年間で、地域への移行を推進するっていう記事が出ていたので、付けさせていただいてますけど、今後、地域移行をしていく中で、中学校の先生の部活の超過勤務っていうのは、おそらくなくなっていくと思います。</p> <p>あまり目を通してないんですけど、学習指導要領の中で、部活が学校教育の一環というふうに位置づけられておりますので、逆に言えば、地域移行が進まない、そこはなかなか解決できないのかなと。</p> <p>指導要領の改訂も多分、部活の地域移行を踏まえて、何らかの改定がなされると思っておりますけれども、そういった状況に、今あると思っております。</p>
浦 委 員	<p>働き方改革の中で、裏面の②のところですけど、行事の説明のところ「時津がロードレースを取りやめている。実際子どもの死亡事故も起きている中、小学校の指導要領にも長距離走は、そもそもなく、現在は体育の授業で体力作りとして行っている。今年度からは、小学校としては、やらない方向」っていうことが、書かれております。っていうことは、小値賀小学校も、今年度からは、ロードレース大会を中止するっていう方向でいくっていうことですか？</p>
教 育 長	<p>はい。これは、小学校の校長が自らおっしゃったことで、書いてあるように、指導要領にないということで、長距離走のリスク、他の町では事故もあっているということを踏まえて、現在の校長は、実施しないというふうに考えているということです。</p> <p>「体育の授業の中で、持久力をつけさせるような運動はしていくので、ロードレースという形では実施しない」と。ただ、「地域の皆さんが沿道で応援する、子ども達が地域の皆さんの前で元気に走る姿といったものが必要という地域ニーズがあるのであれば、それは地域行事としてやっていただきたい」というのが校長の意見でしたし、現在のところ、そういう根拠がないということであれば、教育委員会としても、学校の授業で「ロードレースやってください」っていうふうには、言えない状況であると認識しています。</p>

<p>浦 委 員</p>	<p>今は、小・中合同でされてますよね？同じ日に。</p> <p>そしたら、中学校の方にも、それは勿論申し出て、小学校の方と中学校の方は、話し合いをされて、もしかしたら、中学校はするってということですかね？</p> <p>小学校だけが取りやめて、中学校は何もないってことであれば、今までどおりに中学校だけは、するってということになるんですよね？なりますよね？</p> <p>で、指導要領の中に組込まれてない、長距離走というのは入っていないっていうことなんですけれども、他の学校によっては、体力作りのつもりで、長距離を走らせている学校もありますよね？</p> <p>5年生とか6年生とか。「何キロ走りましょうとか、山に登りましょうとか」。</p> <p>そういうことも、あるかなとは思いますが、でも学校が決めたことであればですね、うちから色々言うことはできませんしね。</p> <p>でも、地域の方としたら、やっぱり何かどこかで、子ども達のそういう走る姿、体力づくりの仕方なんか、見てみたいっていうところはあります。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>私も同様の思いを持っておりますけど、ちょっと自分の事になりますけど、中高時代に陸上部で、中・長距離をやっておりましたので、その効果っていうのは分かりますし、ただ、繰返しになって恐縮ですけど、授業の中では、そういった持久力を身に付けるっていうのは、引続き取り入れていく、ただ、大会としてのロードレースっていうのは、指導要領の状況に沿っていないということで、根拠のないものに関しては、校長としては「するつもりはない」ということでしたので、逆にこれからの課題ですけども、学校運営協議会等で、コミュニティスクールの活動とかで、あるいは、教育委員会所管の町内一周駅伝がありますけど、そういった社会教育行事の中で、子ども達が元気に走る姿を、住民の皆さんに見ていただく機会作りっていうのは、別の方法で取らないといけないのかなというふうに思っています。</p> <p>他にございますでしょうか？</p>
<p>升 水 委 員</p>	<p>働き方改革の一番最後のところです。</p> <p>部活動のスケジュール案を見ますと、長崎県では「令和6年度から段階的にスタートして、令和7年度に完全移行の予定」ってなっているんですけども、これは、部活動の指導を今、先生がやられてるんですけども、これを民間の、小値賀町内の、例えば体育協会の、そういう一般の社会人の人が、指導者になるっていうふうな形になろうかと思うんですけども、例えば、他所の市町村だったらですね、指導者も結構いっぱいいると思うんですけど、小値賀の現状を考えたときに、受け皿がですね、そういう運動クラブってのが、段々少なくなってる、指導する人も高齢化になってですね、これ「対応が本当にできるとやらか？」って、ちょっと心配な面があるんですけども、そこら辺の対応も、ちょっと考えとかんばいかなきゃなろうかと思うんですけど、いかがですかね？</p>

教 育 長

今、国のスケジュールは、5年度から段階的な移行を進めて、3年間で推進していくとなっています。

一方で、先ほど升水委員さんからもありましたように、長崎県は、6年度から実施するという事なんですけど、スポーツ庁の専門家委員会の提言の中でも、小規模自治体、うちみたいなところですね、そういったところは、やはり「人材や体制の確保が困難で、形を整えるのに長期間を要するということもあり得る」というコメントが載っています。

ただ一方で、そういった状況があつて「スタートが遅れるところはあるかもしれないけれども、計画自体は立てていただきます」ということでもあるんですね。

そういう中で、うちとして、どういう体制ができるかっていうのは、これから話し合っていくといけませんので、前回の私の報告でもあったかな？今回、復命書に落とし込んでますよね？

ですので、うちは、そういう地域事情があるので、なるべく早めに着手して、そのために、この8月からでも「まず事務局内で協議をスタートさせよう」ということで、指示をしておりますので。

私この前「佐世保市の中体連に行つて来ました」というご報告をさせていただきましたけど、その時に初めて会場を見て思ったんですが、運営メンバーって、ほとんど先生とボランティアで運営されてるんですね。

それが地域移行になると、競技に携わりたいという積極的な先生方は残っていただけるにしても、有償ボランティアになっていくだろうと思うんですね。

そしたら「大会の運営費は相当凄いものになるだろうな」と思いつつ、そうなったら「町の負担もかなり出てくるだろうな」ということを思ったりしてですね。

単に「子ども達の体力作りとか、スポーツに興味を向けさせる取組み」とかいっただけではなくて、大会出場を担保しようと思えば、財政負担というの、かなり重く、多くなってくるんだろうなっていうのを、見に行つて、初めて感じたんですけど、そういった地元での体制から大会の負担まで、総合的に議論、整理すべきことが、結構あると思いますので、早めに、まずは事務局で、洗出しをしないとイケない課題とかの整理をるところから始めたいと思いますけど。

実際、小学生はサッカーと野球をやっているんですよ。サッカー自体できなくなって、今はフットサルになっているんですかね。競技の種類としては、サッカーと野球ですね。

一方で、中学校の部活は、陸上とバドミントンと吹奏楽で、高校もその3つですよね。

というところで、中学校と高校の部活は整合してるんですけど、小学校と中学校は整合していないというところで、そういう整理も含めて、結構関係者、まずは子ども達の思い、それから保護者の考え、で、先ほど升水委員さんからもあったように、体育協会とかスポーツ推進委員会とか、そういった協議を重ねる相手も多岐に渡りますので、早めに準備をしていきたいと。

	<p>これがまた、文化部も足並みを揃えるということで記事が出ていますので、そう遅くないうちに、文科省から通知が来ると思うんですよね。</p> <p>そういった状況にありますので、繰返しになりますけど、なるべく早く協議をして、それぞれ、問題点等に関しましても、随時委員さん方にも、お知らせをしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>報告第 14 号は、よろしいでしょうか？</p>
教育委員	はい。
教育長	<p>続きまして、報告第 15 号「令和 4 年度第 1 回北松西高校魅力化推進協議会について」です。何かございましたら、お願いします。</p> <p>補足ですけど、新聞記事のお話なんですけど、7 月 21 日の毎日新聞ですね。</p> <p>来年度の公立高校の志願者状況一覧がありました。北松西校は、定員 40 人に対して希望者が 7 人です。</p> <p>ついでですけども、小中高一貫教育に取り組んでおります、お隣の宇久高校は 2 人で、奈留高校が 3 人というような状況になっております。</p> <p>小値賀は、今、中学 3 年生が 15 名です。そのうちの半数弱で、確かまだ進路が不明という回答もあったかと思うんですけど、それでも、おそらく 10 人前後になるのかなというふうに予想してますけど。</p> <p>小中高一貫に取り組んでいる県立高校に関しては「1 学年 10 人以上を望ましい数とする」というふうになっている一方で、そういった状況を踏まえて「高校の特色ある取組みを推進する」と。</p> <p>地域は、それをしっかり支えていくというようなことが前提としてある状況です。まだ当面ですね、小・中学生の数を見ると、10 人をずっと切っていくかっていうほどの状況にはないんですけど、先ほど言いましたように、15 人いても、現在ははっきりしているのは 7 人ということですので、10 数人いるから 10 人以上北松西に進むかっていうと、それも分からない状況ですので、やはり小中高一貫教育と、ふるさと留学を通して、高校の魅力化をどう高めていくかっていうことが、課題になっている状況だと思いますので、ご意見があれば、いただきたいと思えます。</p> <p>見たことがあると思うんですけど「長崎県立高等学校改革基本方針の変遷と取組み」という資料と、教育総務係長にまとめてもらったんですが、今後の子ども達の数の、転勤族の方の子どももおられますので、そういった方々の子どもさんも含めた見通しと、それを外した見通しを表にまとめたものがありますので、ご紹介いたしますけれども、まず、転勤族の子ども達も含めた形での見通しですと、先ほど言いました県の方針にあります、10 人以上を望ましい人数とするってところで、10 人以上が、どこまでキープできるかっていうところなんですけど、先ほど言いましたように、単純に数字だけでいきますと、令和 15 年度以降から 10 人を割り込みます。</p> <p>一方で、転勤族の子ども達を外しますと、令和 8 年度から割り込む見通しにな</p>



	<p>っています。</p> <p>繰返しになりますけど、あくまでも、今いる子ども達が、そのまま北松西高に進んだと仮定した話ですので、それがそのまま進まないと、それよりも早めに10人を割り込んでいくっていう状況にありますので、推進協議会の中で、この資料をお出ししたときに、中学校の校長先生は衝撃を受けていましたし、高校の校長先生も「その辺の早期把握に努めるべきだった」という話をされていました。</p> <p>そういう中で、高校の魅力化をどう高めていくかっていうことですね、まだ「小中高一貫教育の核になるものがない」という意見が、小中高一貫教育の合同会議とかでは、出ているところなんですけど、小中高一貫教育として「北松西高ってこういうところですよ」というのをしっかり打ち出していく必要があるのかなと思っていますし、ご存知のとおり、少人数教育で、凄いことに、医学部にストレートで合格するような生徒も出てきています。</p> <p>進学率が高く、しかも結構国公立にも進んでいるという、そこはしっかりと「学力の保障」というのは、できていると思うんですけど、でも、学力の保障だけだったら、他にもそういう優秀な高校は、数多くあると思いますので。</p> <p>「小値賀の高校でしか学べないもの」というのを出していくっていうのは、非常に難しい反面、やらないといけない取組みだと思うんですけど。</p> <p>何かございませんでしょうか？</p>
<p>升水委員</p>	<p>今教育長が言われたことと、重なる部分が多いかと思うんですけども、小値賀の教育の魅力っていうのがあったんですけど、子ども達が色々な体験をして「生きる力」というか、色々な体験をすることによって、色々な応用力がついたりとか、生きる力がついてきたりとかするっていうのが、ひとつあるかなと思うんですけども、都会の子ども達は、小学校から塾に通って、凄い教育費がかかっているんですね。</p> <p>ところが小値賀では、例えばこの少人数で、先生達の指導が行き届いて、小中高一貫教育をして、先生方の目がよく届くっていうふうなことで、そういうことを利点にして、高校では、今言われたように、進学率がですね「国立に何名中何名進んでる」とか、そういうものをアピールしながら、やっぱり、そういう離島の少人数の学校の利点っていうか、そういう、きめ細かな先生達の指導を、小学校の先生も中学校の先生達も、ずっとそういうものを、小値賀の目標としてですね、きめ細かな子ども達の教育を目指すということで、指導を目指すということで、それをずっとこうして行って、最終的に高校で進学率が、こういうふうに国立に「凄い進学率があるんですよ」と、いうふうなアピールをしながら、実績を上げていけばいいかなというふうに、これは私の考え方ですけども、そういう魅力化を作っていくしかないのかなというふうに、私は1人考えております。</p>
<p>教育長</p>	<p>他にご意見ございませんか。</p>
<p>浦委員</p>	<p>私も升水委員さんと同じ意見です。</p>

やっぱり少人数でも、本当にもう国立に行けるような状況、環境ができていて、ということが大きくアピールして行って欲しいなど。

そこが北松西高の、他にはない魅力と取れば、魅力と取れるんじゃないかなと思ってますね。

だけども、その子ども達が、目指す進路っていうかな、これから生きる、自分が生きていくうえでの、職業とか何かを探すときに、やっぱり、前は、中学校から他所の学校に出て行く子どもは、何人かしかいなかったと思うんですよ。

ほとんど北松西高に行かれていたと思うんです。

だけども最近は、北松西高じゃなくて、他所の高校に行くようなことを聞きます。

で、ひとつあるのが「部活動で野球をしたいんだけど、北松西高には野球部がない。何々をしたいんだけど、その専門コースがない。専門コースに行きたいんだけど、普通科だけで、専門でできることが教えてもらえない。だから、自分はもう外に出る」というようなことで、出ていくケースが多くあるんじゃないかなと思っております。

それで、実際にその中学3年生の子どもに聞くと、やっぱり、その中学生、同級生が何人かしかいないのに「あの人は他所の学校に行くんだって」といったときに、じゃあ北松西高に、女子も男子もそれぞれ少なくなってきたので、例えば、女子が4人しかいないクラスであれば「あの人もあの人も他所に行くんだって。私1人が北松西高？そんなの考えられない」というようなことで「じゃあ私も他所に行かないといけないかな」という話も聞くんですね。だから、もう少人数が故の弊害じゃないけど、そういうものも起きてきているんじゃないかなと思うんですよ。

だから、ここにも職業体験とか、色々ありましたけれども、自分が実際、将来的にどういう仕事をしたいのかっていうのを、はっきり目的を持って、そして例えば、小値賀が求める福祉専門職、もう最近は少なくなってきた、外部からは、なかなか入ってきません。

そういうものをですね、身に付けていただきたいなっていうのも、私はひとつあるんですね。

だから、それをするためには、大学、専門学校にも行った方がいいでしょう。

普通高校に行くよりも、他所の高校にですね。看護系だったら看護学校とか、保母さんであれば保母さんの学校とか、そういうところに行った方が、手取り早いでもんね。

だから、やっぱり子どもの目指す仕事を早く身に付けるためには、北松西高は、進学率はいいんだけど、やっぱりそっちよりもこっちに行った方が、自分は将来的にいいっていうことを、子ども達が真剣に考えてきているんじゃないかなあと思うんですよ。

ただ単に大学に、昔だったら就職じゃなくて、専門学校とか大学に、ただ単に、何をしたいかっていうのも決まらないままにしていたと思うんですけども、子ども達は真剣に考えてきているんじゃないかなと、私的には思うんですね。

<p>教 育 長</p>	<p>だから、そっちの方を選択している、だから、中学校で野球がしたいっていうことであれば、野球に目指すものがあるのかなあと思うんですね。</p> <p>だから、そんなふうに子どもの方が本当に真剣に、大人よりも真剣に考えてきているんじゃないかなって思うところもあるんですね。</p> <p>だから、そこをどうするのかっていうのは、私は、今ちょっと考えが及ばないんですけど。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>言われるとおりでと思うんですけど、私が提案しているキャリア教育も、それを進めていくと、例えば保健師になりたいとか、看護師になりたい、獣医師になりたい、そういった中・高生の相談を、役場の職員の専門資格者が話を聞いて「こんな勉強したらいいよとか、こんな本読んだらいいよ、こんな体験したらいいよ」とかっていうアドバイスをするっていうのが、取組みですので、そういうのが進化すればするほど、浦委員さんが言われるように、もしかしたら、早くからそういう職業意識が育って、早くから専門の学科がある高校に進んでいく、それを誘発する恐れもあるとは思いますが。</p> <p>一方で、何も考えずに高校卒業して、大学進学して、専門学校行ってとかっていうお話もありましたけど、私なんかは、まさにその口で、高校卒業する時に、何になりたいって考えてたかっていうと、何も考えてなかったですね。</p> <p>ですので、親から帰って来って言われて帰って来ただけの状況ですけど。</p> <p>いずれにしろ、足りないなって感じるのは、先の議会で今田議員からの一般質問の中にあつたように、また今、升水委員さんからも浦委員さんからもあつたように、やっぱり情報発信が足りてないのかなっていう気がするんですね。</p> <p>「北松西高ってどういうところ」、私が先ほど言いました「結構有名な大学に、国公立大学にストレートで行ってます」。それは売りにはなると思うんですけど、それだけだと、どこにでもあるんですよ。</p> <p>けど、升水委員さんが言われるように、少人数教育で、塾はないけど、高校の先生達が頑張って、塾通いしてるように、夏季講習とかもあつたりして、そういうふうにして、子ども達に学びの機会を提供して、結果「そういう学力がついてるんですよ」っていうのは、売りになるのかなと思うんですね。</p> <p>単に進学率が高いっていうだけじゃなくて、経済的負担が、多分相当軽くなると思いますので。</p> <p>私の兄弟は、私以外は3人福岡に住んでますけど、やっぱり、子どもが中学生になったら、高校進学を目指して塾通いですよね。その費用を聞くと、結構な額ですよ。そういうのが、小値賀では要らないわけですから。</p> <p>そういうのは、売っていけるとは思いますし、あとひとつ、これは今の段階でお話していいのかどうか、迷うところなんですけど、キャリア教育の提案をした中で、もうひとつ考えているのが、高校の魅力化に関して、うちにしかない資源を使って、学びの場を提供する、それは、学力の向上っていうよりも、例えば「探究心を深める」、先ほど福岡大学の飛田先生のお話もさせていただきましたけど、</p>
--------------	---

	<p>結局そこに尽きると思うんですね。</p> <p>「自分で考えて自分で動く」、そういう子どもに育つことが大事だと思うんですよ。</p> <p>それは例えば、探究心を深める、今「主体的・対話的で深い学び」っていうのが、国の子ども達の教育に関してのキーワードになっていて、一方で現場では、まだ戸惑いもあるようですけれども、先ほど言ったように、探究心を育む高校にしようとしたときに、じゃあどういうツールで探究心を育ませるかというときに、極端に言えば、私は何でもいいと思うんですけど。探究心を育むのが目的であって。</p> <p>例えば、他所でもやってますけど、海洋教育、「小学校から高校まで通して、海洋教育をもとに探究心っていうのを育むようにします」とか、歴史・文化でもいいし、取組んでだいぶ長いですから体験型観光でもいいと思うんですよ。ツールは何でもですね。</p> <p>ただし、絞る必要はあると思うんですね。それを絞っていくっていうのを、高校の魅力化に関して、話をしていかないといけないだろうなと思っているんですね。</p> <p>例えば「何で磯焼けが起きるんだろう？」って、もう皆さんご存知ですよね？魚の食害があったり、環境変化で高水温が続いて、温暖化が進んでいってるとか、漁港工事の構造物とかの影響で、川からの栄養が流れ込みにくくなっているとか、色んなお話がありますけど、そういったひとつに絞って「何でそうなるんだろう？」とか「こうしたらどういう結果が出るのかな？」とか「自分はこう思うけど、果たしてどうやろうか？」と。思ったとおりに出た、出なかった。「何で出なかったんやろうかな？」とか、そういうのを繰り返していく、それで探究心を育んでいくっていうことになるのかなと思うので。</p> <p>魅力化を打ち出す中で、何かツールとして、外にも発信していけるようなものを作り上げていかないといけないんじゃないかなと思っているところです。</p> <p>長くなりましたけど、以上です。</p> <p>他ございませんでしょうか？よろしいでしょうか？</p>
教育委員	はい。
教育長	<p style="text-align: center;"><b>「附議案件」(3) 報告事項</b></p> <p style="text-align: center;"><b>2) その他</b></p> <p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、報告事項につきましては、以上でございます。</p> <p>続きまして、その他でございますけれども、これも事前にお配りしておりますので、先ほどありましたように、1枚物をですね、裏表で概要を記載させていただいておりますので。</p> <p>まず学校訪問につきましては、委員さん全員出席していただいておりますけれども、改めて何かございますでしょうか？よろしいでしょうか？</p>

教育委員	はい。
教育長	はい。続きまして「学力調査結果について」ですけれども。
事務局	これにつきましては、すいません、資料がないので、今詳細について学校で分析をしていただいておりますので、後日改めてその結果と、分析等についてお知らせをしたいと思っております。
教育長	はい。ということですので、よろしいでしょうか？
教育委員	はい。
教育長	はい。3番目です。「民音コンサートについて」、ありませんでしょうか？
教育委員	はい。
教育長	ありがとうございます。 続いて4番目ですけれども「校舎の現地検討会について」ですけれども。ないということで、よろしいでしょうか？
教育委員	はい。
教育長	はい。5番目は「県中体連の結果」です。
浦委員	結果はいかがでしたか？
事務局	はい。結果ですけど、23日に中2女子1名が、共通800mに出場いたしましたし、今回残念ながら予選で敗退となっておりますけれども、小さな学校でありましたけど、一生懸命頑張っていただいております。 まだ2年生ということで、来年もありますし、現在は駅伝大会に向けて、早朝から中学校のグラウンドを中心に練習いたしておりますので、10月に駅伝がありますけれども、ここに期待したいと、事務局としては思っております。 以上でございます。
教育長	はい、ありがとうございます。よろしいでしょうか？
教育委員	はい。
教育長	はい、続きまして、裏面に行きまして6番目の「社会人権・同和教育地区研修

<p>横山委員</p>	<p>会について」ということですが、</p> <p>横山委員さんには、出席していただきました。何かございますでしょうか？</p> <p>一番印象に残ったことは「自分の身の回りの気づきが大事」だっていう、言葉が胸に刺さりました。</p> <p>色んな方達が出席していたためか、全体的な、ちょっと漠然としたものだったと思って、これも仕方がないのかなと思ったんですけども、なんかやっぱり、ちょっとでも具体的な事例があれば、入りやすい、考えやすいきっかけになったかなってことは感じました。</p> <p>感想には書いていませんけども、以上です。</p>
<p>教育長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>私も出席させていただきましたけど、面白かったのは、最初の方で、人間の特徴を宇宙人に説明する、宇宙人に「人間って、こういう生物です」っていうのを説明する。「貴方ならどういった説明をしますか？」っていうのがあってですね、たくさん出たんですよ。</p> <p>私も2つほど出しましたが、例えば「2足歩行をする」とか「言語を操ることができる」とか、そのほかにも外形的な特徴から、色々出たんですけど、先生が、ひとつずつ確認していくんですね、例えば「言語を操る」という特徴について「赤ちゃんは操ることができないですよね？」っていうことで「×」になるわけですよ。で、結局全部消えていったんですね。</p> <p>「手足がある」っていうのも、他の動物だってありますし、私は「生きていくうえで水と空気が必要です」って言ったんですけど、それも、ほかの動物も必要なので、結局自分で消したんですけど、それが凄く面白かったです。</p> <p>人間以外の生命体に人間の特徴を説明するとき「結局全ての人間に当てはまるものってないんだな」って。</p> <p>何を言いたいかっていうと「同じ人間でも、それぞれ違う」っていうお話を講師の先生はされたんですね。なので「それぞれの人が持っている特徴、特性っていうのは固有のものであって、尊重されるべきもの」っていうお話が、私は印象に残りました。以上です。</p> <p>すいません、続きまして、7番目の「大島地区ふるさと留学説明会について」ということで、行ってまいりましたけれども、概要はご覧のとおりですけども。よろしいでしょうか？</p>
<p>教育委員</p>	<p>はい。</p>
<p>教育長</p>	<p>はい。8番目の「少年少女合唱団の演奏会について」です。</p> <p>コロナが心配されましたけど、無事に1週間経って、特に問題なかったようです。</p>

浦 委 員	<p>現地参加が2団体だったっていうことは、ちょっと寂しかったですね。会場の中に2団体っていうのは。</p>
事 務 局	<p>事務局からでございます。</p> <p>そもそも昔、一番多い時期ですと、15、16団体ぐらいは会場参加していたんですけども、コロナ禍が始まってから、練習時間ですとか、練習場所の確保ができないっていうことで、活動を休止している団体自体がそもそも増えてきていたと。で、今回の大会についても、直前で取りやめたりとか、そういう団体があったので、結局現地参加は、この2団体のみということになったということでした。はい、すいません、私はちょっと現地に行けてないんですけど、そういうことでございます。</p>
教 育 長	<p>コロナが全国的に段々と広がっていった状況の中でしたので、事務局から私にも協議がありまして、副町長とも協議しましたけど、最大限にコロナ対策を講じたうえで、まずは、子ども達、親御さん達がどういうふう考えてるのかっていうところで意見集約をして、ほぼ「今まで一生懸命頑張ってきたし、1年に1回の他地区との交流ができる大会を、子ども達が楽しみにしてる」というところですね、行っていただきました。</p> <p>飲食に関しましては、コロナの認証店、あるいは宿で取って、佐世保・長崎間の移動はバスにしてということで。大会もですね、恒例になっている名刺交換とか、そういったことは、残念ながら行われなかったということで、最大限に注意をしながらということで、無事帰ってきておりますので、よろしくをお願いします。</p>
教 育 委 員	<p>分かりました。</p>
教 育 長	<p>続いて9番目ですけど、つい昨日の話ですけど「青少年キャンプについて」は、事務局からお願いできますかね？</p>
事 務 局	<p>はい。青少年キャンプについては、当初は1泊2日のキャンプを予定してたんですけども、学塾村のグラウンド工事が完了しておりませんで、結局、1泊2日のキャンプはできない。ただ、中止にするのも「子ども達が楽しみにしてくれて、かわいそうだ」ということで、野崎島での日帰りキャンプを昨日実施させていただきました。</p> <p>子ども達は、最初の予定どおり18名参加していただきました。</p> <p>天候もちょっと心配されたんですけども、幸いちょっとした小雨ぐらいで、概ね問題なく行っております。</p> <p>子ども達も、ちょっとした切り傷とか、そういうケガがあったぐらいで、あとは問題なく無事に帰ってまいりました。以上でございます。</p>
教 育 長	<p>はい。ありがとうございます。よろしいでしょうか？</p>

教育委員	はい。
	<b>「附議案件」(4) 協議事項</b>
教育長	はい。では報告事項の「その他」については、これで終わらせていただきます。 続きまして、協議事項の1番目ですけれども、学校閉庁日「大島分校について」ということで、事務局お願いします。
事務局	はい。引続きよろしいですか？休憩取らんでよろしいでしょうか？大丈夫でしょうか？
教育委員	はい。
事務局	<p>それでは失礼します。協議事項の1の資料をご覧ください。</p> <p>令和4年度の定例会での協議事項ということで、夏季休業の学校閉庁日の設定につきましては、4月の定例委員会の協議の中で、ご承認いただいた案件でございますが、今回小学校の校長先生から、大島分校につきまして、昨年までの現状としてですね、大島分校の職員間で、申し合わせ事項のような取り決めでですね、16、17のお盆過ぎの2日についても、学校閉庁日じゃないですけど、休んでいたと。</p> <p>実際の現場としては、学校を閉庁する形で対応してたということで「今年度についても、同じような考えでどうですか？」というような、学校長からの相談があったんですけども、教育長とも話しまして、しっかりとですね、やはり教育委員会で協議をして、根拠のある閉庁日にした方がいいと。</p> <p>本校と分校の職員間で、色んなトラブルといいますか、不平等感というのが、あるんじゃないかという心配もあったんですけど、現場の職員の声としては「理解はしている。そういう問題はない」ということも聞きましたうえで、今回協議事項ということで、上げさせていただいております。</p> <p>この件については、本校はですね、夏休みになりますと、職員が15名ほどおりまして、その職員間の中で、シフト制でですね、年休消化のために当番を決めて、学校閉庁日以外は、シフトを組んでいる状況でございます。</p> <p>大島分校につきましても、5名の職員の中で、同じように当番を決めて、学校閉庁日以外は、シフトで勤務している状況でございましたので、大島分校の先生が、回数が、どうしても人数が少ない関係で、多くシフトに入らなければならないということから、ちょっと何年前からかというのは、正式にはちょっと、学校にも調べていただいたんですけど、分からないんですけど、今の分校の教頭先生、松川教頭先生の調べる中では、平成26年以降は、分校職員の申し合わせとして、本校の校長の意向も汲んで、このような対応をしていたということで、今回協議事項ということで、分校につきまして、閉庁日を8月10日から17日までの8日間と設定させていただきたいということで、協議をお願いしております。</p>



	<p>よろしく願いいたします。</p>
教 育 長	<p>はい。ありがとうございます。 このことについて、何かございますでしょうか？ 先生方の休暇に関しましては、長崎県の人事委員会規則が根拠になっております。</p> <p>このことに関しましても、念のため県にも確認をいたしましたけれども、運用に関して「学校、教育委員会の判断で問題ない」ということでしたので、このようにさせていただきます。 よろしいでしょうか？</p>
教育委員	<p>はい。</p>
教 育 長	<p>はい。ありがとうございます。</p>
事 務 局	<p>ありがとうございます。</p>
教 育 長	<p>続きまして、協議事項の 2 番目ですけれども、「総合教育会議について」事務局からお願いします。</p>
事 務 局	<p>はい。失礼いたします。 資料は、総合教育会議次第とした資料をご覧ください。 今週末になりました、29 日金曜日の 1 時半から 3 時までということで、町長の方のスケジュール調整が整っております。</p> <p>なお、会議の案内文につきましては、町長部局の方から、本日決裁を取ったようございまして、通知をするという連絡を受けておりますので、すいません、資料の事前の配布と、当日の次第につきまして説明をさせていただきます。</p> <p>まず、町長からの挨拶がありまして、その後、協議事項ということで、町長部局の提案であります「小値賀町教育大綱」につきまして、提案があるようになっております。</p> <p>内容につきましては、前回の教育委員会の中でご説明した内容で、ほぼ変わっていないというふうに聞いております。</p> <p>あと、2、3、4 としまして「小中高一貫教育」、「ふるさと留学」、「高校魅力化推進事業」ということで、この大きな 3 つの教育の柱を、協議事項ということで、提案させていただきたいと思っております。</p> <p>なお、資料につきましては、協議事項の 2、小中高一貫につきましては、本日資料を、第 1 回目の地区推進委員会の資料を配布させていただきまして、協議事項の 4 につきましては、高校の魅力化推進事業の事業計画書につきまして、本日資料を配布させていただきました。</p> <p>前もってですね、目を通していただければと思っております。そして、教育懇</p>

	<p>談につきましては、前々回、前回といった形で、委員さんからもご意見を伺いましたけれども、最終的に事務局サイドで絞りまして、今回の資料で、提案させていただきたいのを、2つに、大きな柱として絞りました。</p> <p>まずは、教育委員会事務局の整備ということで、社会教育主事及び学芸員の育成と確保ということで、これは委員さん方々から意見がございました「教育委員会の事務局の充実、後継者育成」という部分が、まずは大事だろうということで、これを一番最初の懇談の一発目に持ってきております。</p> <p>内容の詳細は割愛しますけども、現状について、そして課題点につきまして、そして、すいません、これ修正をお願いしたいんですが「解決策」じゃなくて、「改善策」という形で、修正をさせていただきたいと思っております。</p> <p>あと、2つ目でございますが「世界文化遺産と文化財の保全・活用について」ということで、これも大きな課題になっておりますので、これを2つ目として、懇談に上げたいと思っております。</p> <p>内容についてはですね、同じように割愛したいと思いますが、ここも「解決策」を「改善策」に修正して、当日はお配りしたいと思っておりますので、内容につきましては、この後協議をお願いしたいと思っております。</p> <p>なお、3時までということで、時間が限られております。</p> <p>町長も当日はですね、この後にもすぐ会議が入ってるようでございますので、本日、その内容を確認していただきまして、当日は時間内でですね、しっかりと町長の方向性辺りを見出すというか、導き出していただければと思います。よろしくご協議をお願いいたします。</p>
教 育 長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>これは前回も提出させていただいて、ご意見も伺っていますね。</p> <p>高校の魅力化事業について、確か協議事項にも懇談にも上がっているということで、整理をさせていただいております。</p> <p>次長からありましたように、1時間半で、時間が限られているところで、もしも時間が足りない場合はですね、表紙にも書いてありますように「提案分」っていうふうに書いてますので、その時には町長に対して、時間が足りない分に関しては「意見書」という形で受け止めていただきたいということで、閉じようかなと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
事 務 局	<p>すいません、説明がちょっと不足しておりました。</p> <p>懇談の文章につきましては、午前中に打ち合わせをしまして、文書の形式の統一ということで「です・ます調」で、この後調整をさせていただきたいと思っております。</p>
横山委員	<p>これは、教育委員も参加することになるわけですね？で、今回みたいな、定例会みたいな発言とかっていうのが、できるわけですね？</p>

教 育 長	<p>はい。そのとおりです。地方教育行政法で、総合教育会議っていうのは位置づけられておりまして、首長が主催者になります。</p> <p>つまり、町長部局が進めていくことになりますけれども、実態としては、やっぱり教育委員会側からの意見、提案っていうのを予め準備していかないと、議論がなかなかうまくいきませんので。</p> <p>地方教育行政法の中での総合教育会議の位置づけとして、役割として、教育大綱の制定。改正も含めてになりますけれども。それと、教育行政の基本的な方針を決めていく中で、首長は、教育委員の意見を聞かなければならないっていうことになっているんですね。ですので、そのための会議ですので、当然委員さんとして、ご意見を出していただいて構いません。</p> <p>事務局、当日なんですけど、協議事項の4つ、それから懇談についてなんですけど、以前、それぞれの委員さんで、意見を出していただく役割を決めるとか言っていませんでしたか？</p>
事 務 局	<p>はい。当初そのように、事務局としては考えておりましたが、時間が1時間半という限られた中で進めていくうえで、協議事項につきましては、まあ教育大綱についてはですね、町長部局の方が説明というふうになると思うんですけど、この2から4の3本柱につきましては、教育委員会を代表して、教育長の方からご提案いただけないかと思っております、3の教育懇談につきましては、この2つの項目を、もし時間に余裕があれば、代表でどなたかと、どなたかして、先ほど教育長が説明したとおり、時間がないようでしたら、教育委員会の提案事項ということで、教育長の方からお願いしますっていう形がいいのかなと、事務局は、今の段階では思っております。</p>
教 育 長	<p>以上のように、事務局から説明がありましたけれども。よろしいでしょうか？</p>
教 育 委 員	<p>はい。</p>
事 務 局	<p>この1と2を、どなたか代表で。</p>
教 育 長	<p>懇談なので、人材育成に関しましては、升水委員さんからご意見いただいたということもありますので、冒頭の説明は事務局がして、それに対して、多分町長が何らかのお答えをされるでしょうけれども、それに対して委員さん方から、ご意見、ご発言がいただければっていうことで、よろしいんじゃないかなと思います。</p> <p>そういうキャッチボールがあれば、町長とのキャッチボールがあれば、それでよろしいんじゃないかなと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p>
升 水 委 員	<p>当日の、この資料の確認をしたいんですけども、協議事項の1から4までである中で、この協議事項3のふるさと留学事業についての資料で、ふるさと留学協議</p>

	会の1回目と2回目の資料が付くと思うんですけども、これは、自分が持つてるものを持って来ってことですかね？
事務局	改めて使用する考えはなかったんですけど、この定例会の中で報告している資料があるんですけど、それをお持ちいただくか、こちらで準備しようかなと思っています。どちらがいいですか？
升水委員	やっぱり、みんな共通に同じ資料を持っておかないと思いますので、ちゃんとした方がいいと思います。
教育長	分かりました。資料は、新たにこちらで用意します。
教育委員	はい。
事務局	分かりました。
升水委員	すいません、前もって貰うわけには、いかんとすね？
教育長	差し上げましょう。
事務局	はい。もうお届けしましょうか？
教育委員	はい。
教育長	そうですね。別に資料を加工する必要もないし、議事録として整理した資料をコピーしてお渡しするだけでしょ？
事務局	はい。
教育長	でしたら、今日の夕方でも明日でも、できますよね？
事務局	はい。できます。
升水委員	もう1回確認ですけど、ふるさと留学協議会の1回目と2回目の協議会の資料ですよ？
事務局	そうです。
升水委員	この1回、2回目というのは、今年度の1回目、2回目ということですか？

事務局	はい。そうです。
升水委員	みんな分かっているのであればいいのですが。
事務局	お2人が委員さんですけど、中村委員さんと横山委員さんが・・・
中村委員	今回貰っている、これが2回目ということで、前回の分が1回目ということですよ？
事務局	はい。そうです。
教育長	報告書自体は、前の教育委員会で配っていますよね？
事務局	はい。それを改めてコピーしてお渡しするというので。
教育長	その方がいいと思います。
横山委員	この報告書で、今持っている報告書でいいわけですよ？
事務局	はい。そのように考えておりますので、もう改めて、はい。
教育長	皆さんお持ちであってもですよ、町長部局と私達と、同じ資料を同じ順番で準備しておかないと、1時間半しかない会議ですので、スムーズに行くためには、同じものを準備した方がいいと思います。
事務局	はい。
浦委員	よろしくお願いします。
升水委員	教育大綱は、貰っているものを持ってくればいいですかね？
教育長	大綱案も用意しますよね？
事務局	大綱案はですね、お渡しします。ちょっと修正がっております。大きな修正じゃないんですけど、文言っていうか、数値の表現の仕方があれだったので、それもお渡しします。
浦委員	全部ですよ？
教育長	一式っていうことでいいですよ？

事務局	協議事項の資料を一式、「これです」っていうのを渡しましょうかね。その方がいいでしょう。
横山委員	この間いただいた教育大綱と、内容としては一緒ですよ？
事務局	はい。内容は一緒ですけど、数字の①じゃなくて、漢数字の一に、はい、ちょっとすいません、法律上というか、ちゃんと様式があって、指摘がありましたので、修正を・・・
浦委員	セットでいただければ。
教育長	北松西高の魅力化推進事業にしても、小中高一貫教育の合同会議の資料にしても、年間の計画資料ですから、特にこれをもって議論されることではないですよ？
事務局	方向性というか、事業計画の確認資料です。
教育長	あくまでも参考資料ということですよ？ 首長部局に「このように、それぞれ事業が進められようとしています。進んでいます」という、そのための資料ですよ？
事務局	はい。そうです。首長部局にも同じ資料をお渡ししておりますので。一部は今からお渡しするんですけども、教育大綱については、もう擦り合わせております。
教育長	それでは、7月29日の13時30分、会場は？
事務局	役場の西側会議室の予定ですけど、今後のコロナの状況によっては、場所がここ（離島開発総合センター町民ホール）になる可能性がございますので、変更になった場合は、お知らせします。
教育長	取り敢えず、役場2階の西側会議室ということですね？
事務局	はい。
教育長	総合教育会議に関しまして、他に何かございますでしょうか？ないようでしたら、「その他の件」に移ってよろしいでしょうか？
教育委員	はい。

	(5) その他
教 育 長	はい。ありがとうございます。 それでは、その他の1つ目、8月行事予定について、お願いします。
事 務 局	はい。すいません、8月行事予定ですけども、皆様のお手元に、教育委員会の行事予定表はありませんよね？
浦 委 員	ありません。
事 務 局	はい。ということで、今から配布させていただきます。 各学校の行事予定は、ございますか？
浦 委 員	あります。
事 務 局	すいません。ちょっと教育委員会の分が漏れておりましたので、今お配りさせていただいております。加えて、内容の追加でございます。 すいません、8月9日、登校日なんですけども、この日に第1回学校運営協議会を開催予定でございます。そのように、追加していただければと思います。 また、合わせてすいません、7月なんですけども、明後日27日水曜日に、熟年大学の開講式と第1回講座を実施する予定でございます。 ちょっと前回ののに漏れておりましたので、すいません、申し添えておきます。 以上でございます。
教 育 長	よろしいでしょうか？
教育委員	はい。
教 育 長	因みに、ご承知だと思いますけど、まだ私も行けてないんですが、ほぼほぼ毎週金曜日の夜に、平田係長が、地域史の研究講座を行っておりますので、もし時間がありましたら、どうぞご覧になってください。 そしたら2点目ですけども、次回の定例教育委員会の日程ですが、事務局案をお願いします。
事 務 局	失礼します。 8月の定例教育委員会につきましてですけども、22日の週が教育長も私も出張が入っております、ちょっと開催が難しいと思っております、29日の週でどうかと思っております。 いかがでしょうか？29から31の間でどうかと思っているんですが。 問題なければ、月曜日(29日)の昼から、今日のような感じで、どうでしょ

	うか?会場はここになると思うんですね。(コロナ禍の)定員の関係で。
中村委員	29日ですか?大丈夫ですね。
事務局	横山委員さんは?
横山委員	大丈夫です。
教育長	それでは、8月29日でよろしいですかね?
教育委員	はい。
教育長	月曜日、13時30分で、場所は、まだ分からないですね?
事務局	おそらく、ここになると思います。
教育長	ホールですね?
事務局	はい。
教育長	はい。それでは、次回の教育委員会は、29日月曜日、13時30分、離島開発総合センターホールってということで、よろしくお願いします。 以上で、全ての案件が終わりましたけれども、事務局からありますか?
事務局	すみません、1点だけ。 もうご存知だと思いますけど、長崎県内のステージが、コロナ化で2-IIということであっております。 ということで、うちの社会教育施設関連の対応につきましては、町内での感染者が確認されておりますので、現段階でステージ3の対応をいたしておりますので、ご報告というか、改めてご報告ですけど、ここも一応50名までというふうに、より厳しい制限になっておりますので、お知らせいたします。
教育長	はい。ありがとうございました。 以前お知らせしていたとおり、町内で感染者が出た場合は、一歩踏み込んだレベルの対応をするっていうふうに、社会体育施設に関しましては決めておりますので、そのようにしているということですよ?
事務局	はい、そうです。
教育長	よろしく申し上げます。ありがとうございました。



教育長	<p>他はございませんでしょうか？</p> <p>ないようでしたら、以上をもちまして、7月定例教育委員会を閉じたいと思えますけれども、おかげさまで、だいが会議の時間が短縮できて、嬉しく思っております。</p> <p>でも、あくまでも90分を目指して頑張りますので、引続きご協力よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">以上</p> <p style="text-align: right;">15:50 終了</p> <p>終了後、傍聴者からの意見聴取。1名発言あり。</p>
-----	---